

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【公開番号】特開2012-138166(P2012-138166A)

【公開日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2012-96433(P2012-96433)

【国際特許分類】

G 11 B 7/135 (2012.01)

【F I】

G 11 B 7/135 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーザ光源からの光束が回折輪帯素子を介すことなく入射する第1の面と、前記第1の面と反対側の光ディスク基板及び光ディスク内光透過層からなる光ディスクに対向する側の第2の面とを備え、専ら波長が410nm以下の可視光の範囲において、前記レーザ光源からの光束を前記光ディスクに集光する開口数NAが0.84NA0.87で、有効径Dが1.8D2.45mmである単レンズであって、前記第2の面は、光軸からレンズ外径に向かって、半径h1、半径h2、半径h3(h1 < h2 < h3)とした場合、半径h1、半径h2、半径h3での各サグ量をsag1、sag2、sag3とし、各サグの変化量をsag1、sag2、sag3としたときに、0>sag1>sag2、及びsag2<sag3を満足するh1、h2、h3が存在する形状であり、波長405nmでの屈折率nが1.51n1.57であることを特徴とする光ピックアップレンズ。

【請求項2】

前記レーザ光源からの平行光に対して、前記光ディスク内の前記光ディスク内光透過層の表面から面間隔0.0875mmの位置で集光することを特徴とする請求項1記載の光ピックアップレンズ。

【請求項3】

前記第1の面が連続形状であることを特徴とする請求項1記載の光ピックアップレンズ。